



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,131	△4.0	40	△61.8	53	△60.1	64	2.1
24年3月期第1四半期	10,549	2.7	105	—	134	974.6	62	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 46百万円 (△45.3%) 24年3月期第1四半期 84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.27	—
24年3月期第1四半期	3.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	21,731	7,613	35.0	388.45
24年3月期	20,030	7,567	37.8	386.08

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,613百万円 24年3月期 7,567百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	0.6	50	—	85	—	0	—	0.00
通期	39,700	1.8	170	—	240	—	100	—	5.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	20,102,000 株	24年3月期	20,102,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	502,678 株	24年3月期	501,880 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	19,599,854 株	24年3月期1Q	19,604,394 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年5月16日発表の連結業績予想の見直しは行っていません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により一部に緩やかな回復がみられたものの、欧州の債務問題や長引く円高、電力の安定供給懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、①IT技術を駆使して効率化を推進するとともに、量から質へ、売上指向から利益指向への転換を進め、高付加価値低コスト経営の会社に変革すること、②自社品を拡充し、メーカーポジションを確立すること、③効率的・機能的流通業態「FIMA（流通統合管理機構）」を確立することを基本方針とし、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,131百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は40百万円（前年同期比61.8%減）、経常利益は53百万円（前年同期比60.1%減）、四半期純利益は64百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、個人消費は緩やかに増加しているものの、デフレ環境下での販売競争は一段と激化し、厳しい経営環境が続いております。このような状況の中で、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、バスケットボール用品、卓球用品が堅調に推移し、ランニングブームによりスポーツシューズの販売も引き続き好調に推移したものの、野球・ソフト用品、サッカー用品、テニス・バドミントン用品は低調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、アウトドアは堅調に推移したものの、天候不順等の影響によりスポーツアパレルは低調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、消費者の健康志向は引き続き高いものの、競合商品とのより一層の販売競争激化により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,436百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、商品企画、開発力、品質管理を強化し、メーカーポジションの確立に努めたものの、野球・ソフト用品は卸売部門と同様に苦戦を強いられました。バスケットボール用品は、「コンバース」ブランドの昇華プリントのゲームウェアが堅調に推移し、スポーツバッグも堅調ながらカジュアルバッグはヒット商品不在により低調に推移いたしました。

この結果、売上高は132百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、アウトドアの一部の用品は、前年の震災特需の反動や消費者の低価格志向が根強く苦戦を強いられ、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は178百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

#### (その他)

物流部門は、外部の受託業務を拡大し、作業効率の改善に努め、小口多頻度出荷や流通加工の増加によるコストアップをカバーし、堅調に推移いたしました。スポーツ施設運営は、会員満足度を高めるための販売促進活動を強化したことによる会員増加があったものの、シニア世代のゴルフ離れや天候不順によるゴルフ練習場への来場者の低迷等により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は384百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,700百万円増加し、21,731百万円となりました。これは主に、現金及び預金が962百万円、商品及び製品が701百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ1,654百万円増加し、14,118百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,921百万円増加したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、7,613百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が64百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、業績が概ね予想通りに推移いたしておりますので、平成24年5月16日の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,197	3,160
受取手形及び売掛金	9,040	9,091
商品及び製品	2,737	3,439
仕掛品	57	65
原材料及び貯蔵品	80	83
繰延税金資産	98	114
その他	163	196
貸倒引当金	△22	△20
流動資産合計	14,354	16,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,216	4,216
減価償却累計額	△2,875	△2,895
建物及び構築物（純額）	1,341	1,320
土地	2,443	2,443
その他	1,333	1,331
減価償却累計額	△1,065	△1,082
その他（純額）	268	249
有形固定資産合計	4,053	4,013
無形固定資産		
その他	56	54
無形固定資産合計	56	54
投資その他の資産		
投資有価証券	812	781
長期貸付金	54	52
敷金	323	319
その他	477	479
貸倒引当金	△101	△99
投資その他の資産合計	1,567	1,533
固定資産合計	5,676	5,600
資産合計	20,030	21,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,255	10,177
短期借入金	1,150	1,092
未払法人税等	27	10
未払消費税等	78	27
賞与引当金	186	100
その他	674	721
流動負債合計	10,373	12,129
固定負債		
長期借入金	421	339
繰延税金負債	144	134
退職給付引当金	322	326
長期未払金	321	313
その他	879	874
固定負債合計	2,089	1,989
負債合計	12,463	14,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,397	3,461
自己株式	△71	△71
株主資本合計	7,300	7,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	245
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△2	3
その他の包括利益累計額合計	267	249
少数株主持分	—	—
純資産合計	7,567	7,613
負債純資産合計	20,030	21,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	10,549	10,131
売上原価	8,303	8,021
売上総利益	2,246	2,109
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	161	161
運賃及び荷造費	156	154
賃借料	97	90
役員報酬及び給料手当	733	713
貸倒引当金繰入額	6	△2
賞与引当金繰入額	129	94
減価償却費	43	48
その他	810	809
販売費及び一般管理費合計	2,140	2,069
営業利益	105	40
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
受取賃貸料	4	4
業務受託料	3	4
その他	25	8
営業外収益合計	44	28
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	10	10
その他	1	1
営業外費用合計	15	15
経常利益	134	53
税金等調整前四半期純利益	134	53
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	65	△16
法人税等合計	72	△10
少数株主損益調整前四半期純利益	62	64
少数株主利益	—	—
四半期純利益	62	64



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62	64
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△22
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	4	5
その他の包括利益合計	21	△17
四半期包括利益	84	46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84	46
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。